



ROCK PAINT

Technical Data Sheet

TDS NO. OR041516-①

APD/ORD/NTS

1 / 5

その他周辺剤 Ver.2

08/21/18

For Professional Use Only

## エコロック マットクリヤーベース

環境配慮型 2液 アクリルウレタン塗料専用艶消し剤

### 商品概要・用途

環境配慮型 ハイパークリヤー各種、ユーティリティクリヤー M、プロタッチモノコートⅡに共通して使用可能な環境配慮型の艶消し剤です。本商品を使用した艶消しクリヤーは一部市販車両に採用されている艶消し車両の補修用塗料として品質基準を満たしております。

レクサス【1K7】、日産【KBL】を補修の際は、特別塗装仕様書を必ず参照してください。

### 品目コード(品番・缶種)・品名・容量 / 商品外観

149-0095-03

エコロック マットクリヤーベース

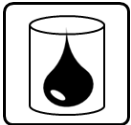
0.9kg



### 特長

- ・労働安全衛生法(特化則)対応、PRTR届出不要の環境配慮型塗料です。(2018年8月現在)
- ・本商品を使用した艶消し塗料は広面積塗装時において、安定した仕上がり品質が得られます。
- ・従来品よりもクリヤー表面のスリップ性が高く、細かいスクラッチ傷に対して強い設計です。

### 配合可能塗料



149L エコロック ハイパークリヤー / エコロック ユーティリティクリヤー M  
077L プロタッチ モノコートホワイトⅡ・ブラックⅡ

### 注意事項



- ・本商品を単体で使用することはできません。
- ・アジテータカバーを装着し、ご使用前に必ず攪拌してください。
- ・艶消し剤を添加した塗料は、ご使用前に必ずろ過をしてから塗装してください。
- ・艶消し度合いは膜厚、乾燥条件、塗装条件によって変化しますので事前にご確認ください。

### 保管条件 / 貯蔵安定期間



5~40℃

3年間(未開封時)

### 保護具 / 安全衛生



適正な安全保護具を装着してください。



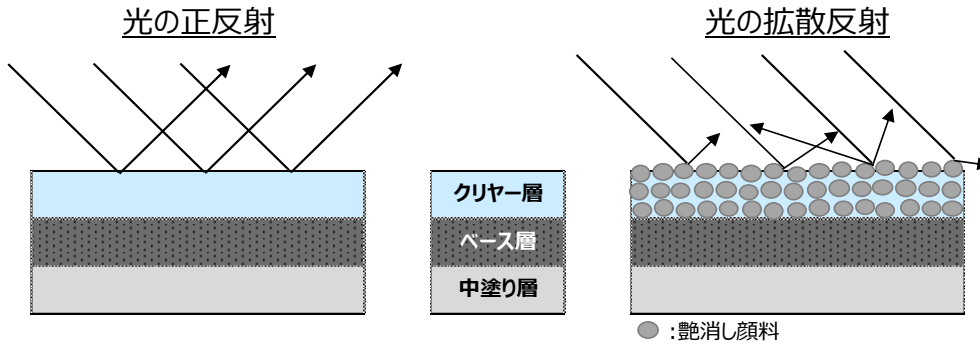
詳細は安全データシート(SDS)を参照ください。

エコロック マットクリヤーベース

For Professional Use Only

艶消し仕上げとは・・・

- 塗料中の艶消し顔料により、塗膜表面に小さな凹凸ができる状態となります。  
凹凸のある塗膜に対して光は拡散反射しますので、目視では艶がない状態となります。
- ・クリヤー塗膜 参考例



艶消し仕上げ《塗装》の重要ポイント



- ・艶消し塗装は、様々な要因で艶の消え具合が変化します。  
艶調整は各種諸条件を一定にしてください。  
《膜厚(塗装回数)、シンナー種、シンナー希釈率、スプレーガン、セッティングタイムなど》
- ・実車を塗装する諸条件を考慮し、調色作業から一定にしてください。
- ・乾燥前に可能な範囲でゴミ、ブツを除去して下さい。  
乾燥後にゴミ、ブツ除去、ポリッシング作業は行えません。

カラーベース&艶消しクリヤーの調色について

■調色時の留意点

- ・比色板作成時においても、本書の標準塗装仕様に準じて作業を行ってください。
- ・カラーベースの調色を行う前に、艶消しクリヤーのコート数を決定し艶調整を先行して行ってください。

※艶調整のポイント

- ・シンナー希釈量でも艶調整が可能ですが、基本的にマットクリヤーベースの添加量で、艶の調整をしてください。マットクリヤーベースの添加量が多いと艶は下がり、添加量が少ないと艶は上がります。
- ・塗装面が水平面(フード等)では膜厚が厚くなり、垂直面(ドア等)では膜厚が薄くなる傾向にあります。
- ・塗装面と膜厚を考慮した上で、本書記載のマットクリヤーベース配合内で添加量を決定してください。

※艶消しクリヤーのコート数(膜厚)のポイント

- ・膜厚が薄いと、正反射方向では明るく、スカシ方向では暗くなり、膜厚が厚くなると、正反射方向では黄味が増し暗くなり、スカシ方向では青白くなり、メタリックは粒子感が弱くなります。

		艶消しクリヤー	
		薄膜	厚膜
艶(グロス値)		下がる	上がる
正反射	色相	黄味増	
	明度	下がる	
	彩度	下がる	
スカシ	色相	青白味増	
	明度	上がる	
	彩度	下がる	

エコロック マットクリヤーベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

硬化剤 / シンナーの選択について

・『エコロック ハイパークリヤー各種』、『エコロック ユーティリティクリヤー M』、『プロタッチ モノコート』のTDS、  
 または『エコマルチ / エコHSシンナー』のTDSを参照ください。

※より仕上がりを重視される場合には、硬化剤&シンナーを半ランク～1ランク遅く選択することを推奨します。

配合表

配合:重量比

商品	A				シンナー 希釈率	
	マットクリヤーベース配合量(目安)					
	3分艶消し 60～70g/㎡	5分艶消し 40～50g/㎡	7分艶消し 25～35g/㎡	全艶消し 10g/㎡以下		
149L エコロック ハイパークリヤー 各種	70～80%	90～100%	110～120%	135～140%	15～25%	
149L エコロック ユーティリティクリヤー M	55～65%	65～75%	80～90%	110～120%	10～20%	
077L プロタッチ モノコート	ホワイトⅡ	30～40%	40～50%	50～60%	90～100%	50～70%
	ブラックⅡ	75～85%	115～125%	140～150%	不可	20～40%

※エコロック ハイパークリヤー Hを主剤とする際は、比較的小面積での使用を推奨します。

エコロック ハイパークリヤー各種 配合比 / 塗り重ね可能塗料



100 }  
 A } 100 }  
 25 } 100

149-6\*\*\* ハイパークリヤー各種  
 149-0095 エコロック マットクリヤーベース  
 149-61\*\* エコロック ハードナー 各種  
 B エコマルチシンナー / エコHSシンナー 各種



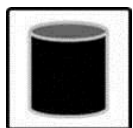
077L プロタッチ  
 979L ネオウォーターベース

エコロック ユーティリティクリヤー M 配合比 / 塗り重ね可能塗料



100 }  
 A } 100 }  
 20 } 100

149-5145 エコロック ユーティリティクリヤー M  
 149-0095 エコロック マットクリヤーベース  
 149-61\*\* エコロック ハードナー 各種  
 B エコマルチシンナー / エコHSシンナー



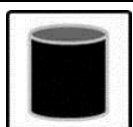
077L プロタッチ

プロタッチ モノコートⅡ各種 配合比 / 塗り重ね可能塗料



100 }  
 A } 100 }  
 25 } 100

077-32\*\* プロタッチ モノコートⅡ各種  
 149-0095 エコロック マットクリヤーベース  
 149-61\*\* エコロック ハードナー 各種  
 B エコマルチシンナー / エコHSシンナー 各種



202L プラサフ 各種

エコロック マットクリアーベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

標準塗装条件 149L エコロック ハイパークリアー各種 / ユーティリティクリアー M 艶消し仕上げ ※全艶消し



ハイパークリアー各種	10°C/4時間	20°C/3時間	30°C/2時間
ユーティリティクリアー M	10°C/5時間	20°C/4時間	30°C/2.5時間



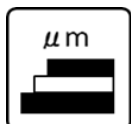
希釈時 20°C/10~12秒 イワタカップ



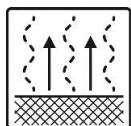
スプレーガン口径 1.3mm  
 スプレー圧力 0.2MPa (手元圧力)



2~3回 シングルコート



40~60 μm (2~3回)



各コート間のフラッシュオフ 20°C/10~15分  
 強制乾燥までのセッティング 20°C/15分



予備乾燥 40°C × 10分  
 強制乾燥 60°C × 60分

塗装方法



1回目からウェットコートで均一な肌になるよう塗装する。  
 ※パネル2枚以上塗装する際は、膜厚差による艶ムラを抑えるため各コートで  
 オーバーラップ箇所を変えてください。

注意事項



- ・艶消し仕様はボカシ塗装ができませんので、必ずブロック塗装で補修してください。
- ・各コート間のフラッシュオフ時はエアブローを行わないでください。艶ムラの原因となります。
- ・塗装後、ポリッシング作業は行えません。塗装作業場を入念に清掃していただく等、塗装中に  
 ゴミ・ブツが付着しないよう配慮してください。
- ・仕上がりを重視される場合はベースコートと艶消しクリアーの間にトップコートで使用する  
 クリヤー等でアンダークリアー塗装工程を加えることを推奨します。  
 乾燥後、中研ぎ作業を経てフラットな面を形成してから、艶消しクリアーを塗装します。

■ Copyright © 2018 ROCK PAINT CO.,LTD. All Rights Reserved.  
 本データシートの内容については予告なく変更する場合があります。また著作権などの法律で保護されており、無断で転載、複製することを固く禁止します。  
 本データシートは参考資料としての位置付けにて、特定の品質や使用に関する適正または塗装の結果を保証するものではありません。  
 実際の塗装等作業には、環境面をはじめ種々のファクターが介在致します。事前に試験塗装を行い確認を実施いただきますようお願い致します。  
 本データシートを使用して生じたいかなる塗装結果及び損害についても、弊社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

エコロック マットクリヤーベース 標準塗装仕様

For Professional Use Only

標準塗装条件 077L プロタッチ モノコートⅡ各種 艶消し仕上げ ※マットクリヤーベース最大量添加



10°C/4時間 20°C/3時間 30°C/2時間



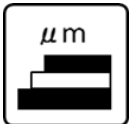
希釈時 20°C/10~12秒 イワタカップ



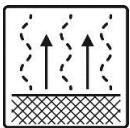
スプレーガン口径 1.3mm  
スプレー圧力 0.2MPa (手元圧力)



3~4回 シングルコート



50~70 μm (3~4回)



各コート間のフラッシュオフ 20°C/10~15分  
強制乾燥までのセッティング 20°C/15分



予備乾燥 40°C × 10分  
強制乾燥 60°C × 60分



202L プラサフ 各種

プラサフ研磨



機械研ぎ(空) P400以上 ※パッド付  
手研ぎ (水) P600以上

塗装方法



1回目はミディアムコートで塗装する。  
2回目以降はウェットコートで塗装する。

注意事項



- ・艶消し仕様はボカシ塗装ができません。必ずブロック塗装で補修してください。
- ・各コート間のフラッシュオフ時はエアブローを行わないでください。艶ムラの原因となります。
- ・塗装後、ポリッシング作業は行えません。塗装作業場を入念に清掃していただく等、塗装中にゴミ・ブツが付着しないよう配慮してください。